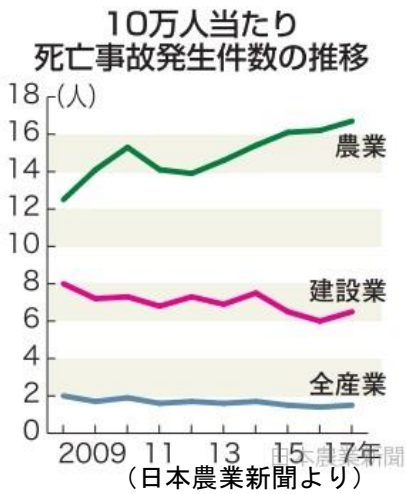


営農ウィークリーNEWS

農業機械作業は十分に注意を!!



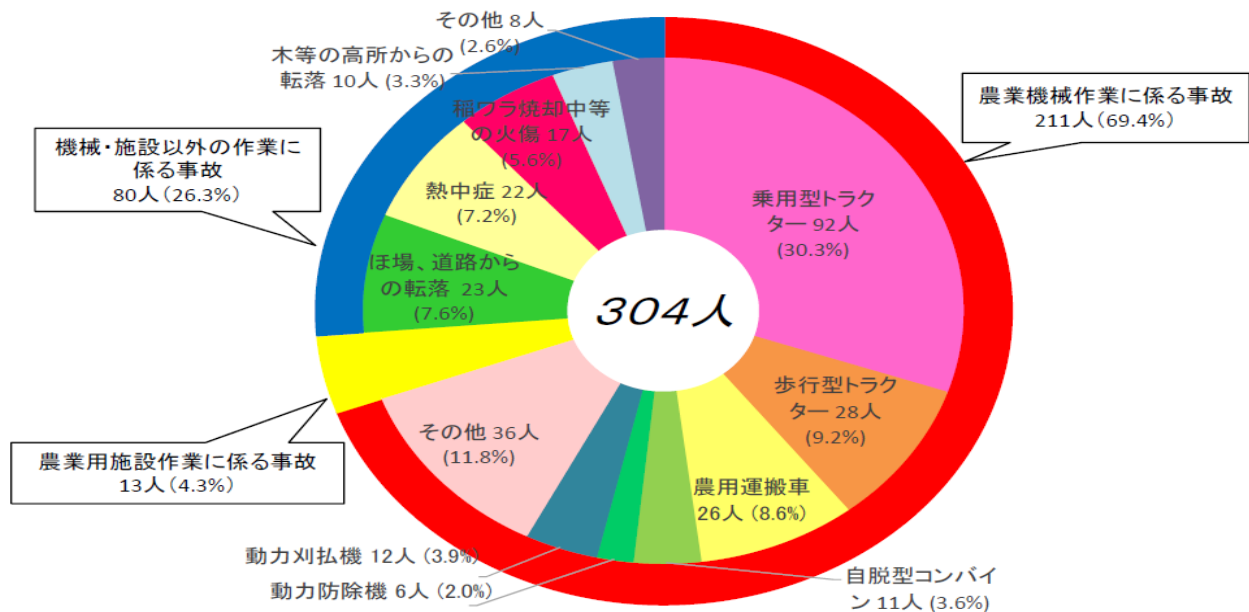
春の農作業が始まりました。これから農業機械を扱う場面が多くなります。慣れている作業でも、ちょっとした不注意で大きな事故につながります。

農水省の調査では、以前は毎年400人近くの方が農作業で亡くなっており、その7割が農機事故です。2017年は304人に減りましたが、10万人当たり死亡者は、農業では全産業平均に比べて11倍もの高い数字になっています(左グラフ)。

また、65歳以上の高齢者による事故が8割を占めます。作業に当たっては、十分に安全に心掛け、点検を怠らず、チェックポイント(裏面)を確認して行いましょう。

要因別の死亡事故発生状況(平成29年)

(農水省調べ)



-TAC information-

大カブ「根こぶ病」



写真は、大カブです。根こぶ病に罹病しています。アブラナ科の中でも、カブは特に根こぶ病に罹病しやすいと言われています。

対策としては、汚染圃場を避けて作付を行う。土壌pHを7.2以上にする。根こぶ病耐性品種を利用する。薬剤防除を実施する。等です。

登録薬剤は、ネビジン粉剤・オラクル粉剤・フロンサイド粉剤などがあります。

休憩も取りましょう!!

しっかり
事故防止



チェックは
こまめに
忘れずに!!

5つの チェック ポイント

農機具の事故のほとんどは、一瞬の不注意から起きています。

事故を防ぐ5つのポイントを必ずチェックしましょう。

チェック
ポイント

1 取扱説明書をよく
読んで農機具を正しく
使用していますか。



チェック
ポイント

2 日常点検・定期点検
は忘れずに
行っていますか。



チェック
ポイント

3 点検整備は必ず
エンジンを止めて
から行っていますか。



チェック
ポイント

4 作業は身体に
ピッタリあった服装で
行っていますか。



チェック
ポイント

5 「大丈夫だろう運転」は
危険です。十分安全を
確かめていますか。



J A 共済資料より

農水省啓発用チラシより

○機械作業を中断する時はエンジン停止！

○駐停車をするときは、駐車ブレーキを確実に！

○「ちょっとだけだから」は危険！

ちょっとの間だけだからとトラクターの左右ブレーキを連結しなかったり、刈払い作業で防護メガネを装着しなかったことで、事故が起きています。

○ヘルメットを被ろう！

○携帯電話を持ち歩こう！

○危険な場所にはポール等で目印を！